

各校園長 様

選 定 番 号214
田 島 南 小 中 一 貫 校
大 阪 市 立 田 島 南 小 学 校
校 長 蒔 平 雅 子

令和8年度 大阪教育委員会「がんばる先生支援」グループ研究B

公開授業・公開研修会のご案内(一次案内)

5教科における小中協働「授業改善プロジェクト」
～学力のボトムアップと若手育成をめざして～

一心を満たす「授業」づくり

特色あるカリキュラムに「生きる」教育を置いている本校では、いわゆる先天的な発達障がいのみならず、反応性アタッチメント(愛着)障がいや、トラウマ性発達障がいなど、後天的な理由によるハンディキャップに苦勞する子どもたちが多く在籍しています。元々ストレスの多い彼らの「脳」に、さらなるストレスを与えるような授業をしてしまうと、そのまま問題行動に直結します。

本校では、生徒指導提要2.2.3「教科の指導と生徒指導の一体化」にある『自己存在感の感受』『共感的な人間関係の育成』『自己決定の場の提供』『安全・安心な居場所づくりへの配慮』などを指針とし、ケアやインクルーシブの視点で、丁寧なスモールステップを踏めるような教材開発や、指導展開の工夫をはかってきました。新しい知識が自分に積み重なる安心感や、発見や対話から湧く高揚感、時間を忘れるような心地よい疲労感など、子どもたちの「心」が満たされることを優先し、研究部として提案した、国語科・社会科・算数科(2年生以上)の全単元指導計画を、学年でアレンジするよう取り組んできました。学年打ち合わせの中で、若者もベテランも関係なく、日々の授業について議論し学び合う風土は、各教室の授業の質の向上に留まらず、日々の目まぐるしい生活指導事案や、厳しい保護者対応を、チームで乗り越えていく力の一助にもなってきました。

本大会では、「今」を満たし、「未来(進路)」を視野に入れ、さらには辛かった「過去」をも癒す、授業づくりの一端を提案させていただきたいと考えています。研究は、まだまだ道半ばです。多くの先生方にご参会いただき、ご教示いただけますと幸いです。

- 1 日 時 令和8年10月30日(金) 13時30分 ～ 17 時 (受付 13 時00 分から)
- 2 会 場 田島南小中一貫校(大阪市立田島南小学校)
〒544-0011 大阪市生野区田島 5-23-7 電話 06-6758-1541

3 時 程

13:00～	受付開始		
13:30～	授業提案	「田島南小学校の授業づくり」	田島南小学校教頭 小野太恵子
14:00～	5科公開授業		
14:45～	講堂へ移動		
15:00～	公開セッション with 授業者		
	ファシリテーター	京都大学大学院教育学研究科	教授 西岡加名恵先生
	アドバイザー	大阪教育大学 総合教育系 共同学校教育部門	教授 吉田茂孝 先生
		「個別最適な集団での授業づくりと教師の授業力-インクルーシブの視点から-」	
16:00～	講評・講演	京都大学大学院教育学研究科	教授 石田真英 先生
		「授業づくりの深め方 -『わかる』授業を構想するために-」	
17:00	終 了		

4. 公開授業予定

学年組	教科	5科プラス ⁺ 授業内容	授業者
5年1組	国語科	注文の多い料理店 ―二人の紳士を読みとる―	谷本 涼輔
6年2組	社会科	町人の文化と新しい学問 ―江戸町文化の世界観を味わう―	和木 龍太郎
4年1組	算数科	計算のやくそくを調べよう ―数の見方をきたえる―	新矢 琢磨
6年1組	理 科	月と太陽 ―地球視点・宇宙視点を1つの概念に―	宮木 寛史
5年2組	外国語	My hero is my brother. ―単元のはじめの一步―	上田 恵
5年3組	道 徳	「 検 討 中 」	別所美佐子

5. 申し込み方法

- ・定員は 200 名（申し込み順）になります
- ・参加者名・所属名・連絡先などを、QR コードからお申込みください【締め切り 10 月 27 日（火）】



6. ご不明な点につきましては、田島南小中一貫校（大阪市立田島南小学校）教務主任 菊井 威までお問合せください。

学校代表メールアドレス s1514@education.city.osaka.jp

7. 講師の先生方

授業づくり	京都大学大学院 教育学研究科 教授 石井英真 氏 令和6年度 E.FORUM でご講演された「授業づくりの深め方」では、本校が大切にしていきたい、たくさんの金言に出あわせていただきました。「立った瞬間勝負あり」「財を介してまなざしを共有する」「間をどう扱うか」など、刺さるお言葉の数々から、石井先生に授業を観ていただくことが大きな目標となりました。その夢叶い、本年度は5科揃えての授業公開をもって、本校の授業づくりについて、ご批評賜りたいと願っております。
インクルーシブ	大阪教育大学 総合教育系 教授 吉田茂孝 氏 吉田先生は、西岡先生からご縁をいただき、この夏の研修会では、上記5科の授業づくりの過程で出あう様々な「壁」を共有させていただき、インクルーシブな授業の「見方・考え方」を教えていただきました。これまで、子どもたちのつまずきを道しるべに、様々なスモールステップを生み出して参りましたが、それらが個別最適な集団での授業づくりとして、どこまで叶っているのかを、ご教授賜りたいと考えています。
総 評	京都大学大学院 教育学研究科 教授 西岡 加名恵 氏 西岡先生とは、令和3年3月3日に生野南小学校で公開しました「生きる」教育の授業をご覧いただいたことがご縁で、一貫校になってからも送って下さったあたたかいエールや、要所要所でご指摘いただいた学術的な見地を、研究が飛躍していく礎とさせていただいてきました。本大会では、Trauma Informed Education の視点から、本校の授業づくりについての総評を、お話いただく予定です。